

わが職場

F U J I D A N は

二歩先の未来へ

昭和二十三年に創業者本田稔による製盆業にはじまり、三十二年段ボールの製造開始とともに旧社名である富士ダンボール工業株式会社を設立しました。地元に着した事業を続け約七十年が経ち、その間、平成十七年に企画開発部門として立ち上げたDプロジェクトが h a c o m o 株式会社として平成二十二年に分社化。おかげさまでお客様より絶大なご支持を賜り、そのマーケットは国内にとどまらず国外にも及ぶほど順調に成長しています。

一見順調に推移しているように思えますが、当社を取り巻く経営環境は年々厳しくなってきました。少子高齢化に伴う

消費減少、労働力確保の難しさ等がその原因です。

そこで、構想二十年の歳月を経て新本社工場の建設に至りました。直面する労働力不足を見越し、生産ラインの配置を見直すことにより効率化を実施。また、デザイン性や機能性の高い製品に対応すべく最新鋭の設備を導入。物流効率を改善するために新工場の立地はインターチェンジのすぐ横にしました。衛生管理体制強化のため異物混入などを防ぐ設備、管理体制に見直しました。また、働きやすい環境を整備するために従業員がゆっくりと休憩できる全木造の食堂を建設しました。

旧本社工場に比べ、新本社工場は高台に位置することから、災害拠点としての機能を向上させました。その結果、災害時に本社工場を支援物資の物流拠点としての活用や、避難所で使用する段ボール製間仕切りや段ボール

ベッドを自社工場にて備蓄、売電用の太陽光パネルの電力を非常用電力として供給する内容の災害時協定を地元東かがわ市役所と締結しました。

新工場建設に伴い新規に十名雇用を増やし、今後も高齢者や女性、障がい者の積極的採用を増やすなど地域の雇用創出の場として貢献してゆきたいと考えています。

今年三月一日に株式会社 F U J I D A N に社名変更し、名実ともに新しい一歩を踏みだしました。これからは新本社工場という未来を見越した新しい武器を基にさらにもう一歩先の「二歩先の未来」に向けて地域の皆様と共に発展してゆきたいと考えています。

株式会社 F U J I D A N

安全衛生委員長

長谷川 満